

带状疱疹の予防接種説明書

带状疱疹とは？ 带状疱疹予防接種の効果

带状疱疹とは、過去に水痘（水ぼうそう）にかかった際に、水痘・带状疱疹ウイルスが体内に潜伏し、加齢・疲労・ストレスなどで免疫力が低下すると再び活性化し、時に痛みを伴う水泡が出現する病気です。合併症の一つに皮膚の症状が治まった後にも痛みが残る「带状疱疹後神経痛」があり、日常生活に支障をきたすこともあります。

带状疱疹の予防接種には、個人の発病またはその重症化を防止するといった効果があります。

		乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」	組換えワクチン「シングリックス」
带状疱疹に対する ワクチンの効果 (報告)	接種後 1 年	6 割程度の予防効果	9 割以上の予防効果
	接種後 5 年	4 割程度の予防効果	9 割程度の予防効果
	接種後 10 年	—	7 割程度の予防効果

※合併症の一つである、带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後 3 年時点で、生ワクチンは 6 割程度、組換えワクチンは 9 割以上と報告されています。

接種対象者

①年度内に 65 歳を迎える方。

※5 年間の経過措置として、年度内に 70 歳、75 歳、80 歳、85 歳、90 歳、95 歳、100 歳以上になる方。（ただし、100 歳以上の方については、令和 7 年度に限り全員対象）

②接種日時点で 60～64 歳の方でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障がいがあり日常生活がほとんど不可能な方。

※過去に带状疱疹にかかったことのある方も、定期接種の対象となります。

※過去に带状疱疹の予防接種をされた方は、原則対象外ですが、医師が追加の接種が必要と認めた場合は定期接種の対象として接種することが可能です。

带状疱疹ワクチン

带状疱疹ワクチンには、乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」と組換えワクチン「シングリックス」の 2 種類がありますが、接種回数や接種方法が異なります。病院により取り扱っているワクチンが異なりますので、病院の窓口でご確認ください。

	乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」	組換えワクチン「シングリックス」
接種回数・接種方法	1 回 / 皮下接種	2 回 / 筋肉内接種
接種間隔		通常 2 か月以上の間隔を置いて 2 回接種。医師が必要だと認めれば、間隔を 1 か月に短縮できる。
接種できない方	病気や治療によって、免疫が低下している方	免疫の状態にかかわらず接種可能
接種に注意が必要な方	輸血やガンマグロブリンの注射を受けた方は治療後 3 か月以上、大量ガンマグロブリン療法を受けた方は治療後 6 か月以上おいて接種してください。	筋肉内に接種するため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方は注意が必要です。

裏面もご覧ください



接種後の副反応

副 反 応 の 発 生	発生割合	乾燥弱毒生水痘ワクチン「ビケン」	組換えワクチン「シングリックス」
	70%以上	—	疼痛(*)
	30%以上	発赤(*)	発赤(*)、筋肉痛、疲労
	10%以上	そう痒感(*)、熱感(*)、腫脹(*)、 疼痛(*)、硬結(*)	頭痛、腫脹(*)、悪寒、 発熱、胃腸症状
	1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感(*)、倦怠感、その他の疼痛
	頻度不明	アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、 無菌性髄膜炎	ショック、アナフィラキシー

(*) ワクチンを接種した部位の症状 各社の添付文章より厚生労働省にて作成

予防接種を受けることができない方

- ① 体温が 37.5℃以上ある方。
- ② 重篤な急性疾患にかかっている方。
- ③ 予防接種の接種液の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方。
- ④ 医師が不適当と判断した方。

予防接種を受ける際、医師と相談しないといけない方

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方。
- ② 過去に予防接種を受けて 2 日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方。
- ③ 過去にけいれん(ひきつけ)を起こしたことがある方。
- ④ 過去に免疫不全と診断されている方。
- ⑤ 近親者に先天性免疫不全症の方がいる方。
- ⑥ 帯状疱疹ワクチンの成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方。

他のワクチンとの同時接種・接種間隔

いずれの帯状疱疹ワクチンについても、医師が特に必要と認めた場合は、インフルエンザワクチンや新型コロナワクチン、高齢者肺炎球菌ワクチン等の他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、乾燥弱毒生水痘ワクチンについては、他の生ワクチンと 27 日以上の間隔をあける必要があります。

予防接種を受けた後の注意事項

- ① 接種後 30 分程度は健康状態の変化に注意し、安静にしてください。体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡をしてください。
- ② 注射した部位は清潔に保つようにしてください。
接種当日の入浴は問題ありませんが、激しくこすらないようにしてください。
- ③ 当日の激しい運動は控えるようにしてください。

予防接種健康被害救済制度

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり、障がいが残ったりすること)が起こることもあります。極めてまれではありますが、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、健康被害救済制度が設けられています。

救済制度を申請される方は、住所地の市町へご相談ください。

【問合せ先】 飯塚市 健康保健課 地域保健係 電話 0948-96-8615
嘉麻市 健康課 健康推進係 電話 0948-42-7430
桂川町 健康福祉課 健康推進係 電話 0948-65-0001